

# 令和4年名古屋港の港勢

令和4年（2022年）の名古屋港の港勢は、入港船舶隻数、船舶総トン数、総取扱貨物量ともに前年実績を下回りました。

## 1 入港船舶

入港隻数は27,603隻（前年比6.9%減）、総トン数は2億449万トン（同1.7%減）と隻数、総トン数ともに前年実績を下回りました。

### ○ 外航船舶

入港隻数は6,812隻（同3.1%減）、総トン数は1億6,641万トン（同1.2%減）と、ともに前年実績を下回りました。全体の5割以上を占めるコンテナ船においては、入港隻数は3,573隻（同0.1%増）、総トン数は7,260万トン（同0.1%増）と入港隻数、総トン数ともに前年並みとなりました。

### ○ 内航船舶

入港隻数は20,791隻（同8.1%減）、総トン数が3,808万トン（同3.8%減）と入港隻数、総トン数ともに前年実績を下回りました。

## 2 海上出入貨物

令和4年の総取扱貨物量は、1億6,358万トン（前年比8.0%減）と前年実績を下回りましたが、平成14年から21年連続で全国1位になりました。

また、総取扱貨物量のうち外貿貨物取扱量については、1億876万トン（同6.9%減）と前年実績を下回りましたが、平成12年から23年連続で全国1位になりました。

### ○ 外貿貨物

輸出貨物量は、4,194万トン（同8.9%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位は完成自動車、自動車部品、産業機械といったこの地方で生産される代表的な品種で、特に完成自動車、自動車部品の上位2品種で全体の6割以上を占めています。国・地域別では1位が中国で530万トン、以下2位アメリカ409万トン、3位オーストラリア238万トン、4位アラブ首長国234万トン、5位タイ228万トンです。

輸入貨物量は、6,683万トン（同5.6%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種はLNG（液化天然ガス）、原油、鉄鉱石、石炭といった天然資源で、全体の5割以上を占めています。国・地域別では、1位がオーストラリアで1,337万トン、以下2位中国1,255万トン、3位アメリカ539万トン、4位マレーシア400万トン、5位サウジアラビア350万トンです。

## ○ 内貿貨物

移出貨物量は 2,805 万トン（前年比 9.8%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種を完成自動車、重油、揮発油、鉄鋼、鋼材が占めました。移入貨物量は 2,677 万トン（同 10.4%減）と前年実績を下回りました。取扱貨物の上位品種を完成自動車、鋼材、セメント、化学薬品、揮発油が占めました。

## ○ 外貿コンテナ貨物

外貿コンテナ貨物量は、4,583 万トン（同 0.7%減）、コンテナ個数は 253 万 TEU（同 0.3%減）と、ともに前年実績を下回りました。

輸出入別で見ると、輸出は 2,159 万トン（同 4.1%減）と前年実績を下回り、輸入は 2,424 万トン（同 2.6%増）と前年実績を上回りました。

品種別では、輸出は自動車部品、産業機械、その他化学工業品、ゴム製品、完成自動車が上位を占め、輸入は衣服・身廻品・はきもの、自動車部品、その他化学工業品、電気機械、輸送用容器が上位を占めました。

国・地域別では、輸出は 1 位が中国で 442 万トン、以下 2 位アメリカ 332 万トン、3 位タイ 161 万トン、4 位ベトナム 103 万トン、5 位台湾 102 万トンです。輸入は 1 位が中国で 1,060 万トン、以下 2 位ベトナム 166 万トン、3 位タイ 151 万トン、4 位アメリカ 132 万トン、5 位インドネシア 123 万トンです。